

藤陽中だより

令和7年11月号

10月31日発行

校長 森 功一



快挙！日本から二人のノーベル賞。

ノーベル賞とは、物理学・化学・生理学・医学・文学・平和・経済学の6分野があり、人類に多大な貢献をした個人または団体に、世界的な名誉として称え贈られます。今回、日本人としては7年ぶりに生理学・医学賞を大阪大学教授【坂口 志文（さかぐち しもん）】さんが受賞され、6年ぶりに化学賞を京都大学副学長【北川 進（きたがわ すすむ）】さんが受賞されました。

坂口氏は、体を守る仕組みである免疫の暴走を防ぐ「制御性T細胞」を発見し、北川氏は、環境問題の解決につながる可能性がある「金属有機構造体（MDF）」を開発されました。

お二人の足跡を辿ってみると、とても印象深い言葉がありました。

◆坂口氏→私の研究者人生は、『興味・継続・革新』です。何かを成し遂げるには時間がかかる。

座右の銘は『一つ一つ』。毎日何かを進めていくことです。

◆北川氏→『幸運は準備された心にのみ宿る』ある日突然宝くじを引いて当たったわけじゃない。いろんな経験を大切にしていくと、それが将来花開くのです。

お二人とも、取り組んできた研究の成果がなかなか思うようにいかなくとも決してあきらめず、日々の積み重ねを大事にしてきたということがよく伝わってきます。誰かのために、困ってる人のために、世界のために、という強い思いが、このような素晴らしい結果につながったのでしょう。

みなさんも今、目指していることや頑張っていきたい事を簡単にあきらめはいけません。大事なのは【あせらず・あわてず・あきらめず】という粘り強い精神力です。まずは目の前の一歩をしっかり進んでいきましょう。その先に必ず道は開けてきます。

スポーツ祭典よくがんばりました。さすが藤陽中生です。

暑くもなく寒くもなく…今年は絶好のコンディションで迎えることができました。9月から体育の授業や昼休みに、本番に向けての練習を一生懸命に取り組んでいる姿がありました。当日は一人ひとりが真剣に競技に挑み、どの種目も盛り上がりしました。「最後まであきらめずに競技し、みんなのために応援していた」みんなの行動には素晴らしいものがありました。

学年種目では、どの学年ともそれぞれ特色のあるオープニングがとても良く、その後の競技ではクラス一丸となっていました。悔しい思いをした人も、嬉しい思いをした人も、それはがんばったからこそ…必ず次に活かされてきます。みなさん全員がよくがんばりました。ご苦労様でした。

さあ次は合唱コンクールです。この藤陽中だよりが配布される頃には、もしかしたら結果が出ているのかもしれません。先に伝えておきますね…「結果も大事ですが取り組んできた内容の方がもっと大事です」今日はそんな話ができる日でありますように。合唱コンクールお疲れさまでした。

11月の行事予定 部活下校時間：17時下校

日	曜	終業	行 事 予 定	給食	部活
1	土				
2	日				
3	月		文化の日		
4	火	15:35	進路説明会	○	○
5	水	12:30	短縮授業 給食 WEB 申込開始	×	×
6	木	15:35	3年生実力テスト	○	○
7	金	15:35		○	○
8	土				
9	日				
10	月	14:25		○	×
11	火	14:10	研究授業(2-3は15:15下校)	○	×
12	水	15:35	全校集会	○	○
13	木	15:35	連合音楽会 1年生色覚検査	120	○
14	金	15:35	1年生歯科保健指導	○	×
15	土	10:40	【AM】授業参観【PM】ふれあい祭り 給食 WEB 申込終了	×	※
16	日				
17	月		代休		
18	火	15:10	3年生進路懇談	120	○
19	水	15:10	3年生進路懇談	120	×
20	木	15:10	3年生進路懇談 火災避難訓練	120	×
21	金	15:10	3年生進路懇談	120	×
22	土				
23	日		勤労感謝の日		
24	月		振替休日		
25	火	15:10	3年生進路懇談	120	×
26	水	11:50	期末テスト	×	×
27	木	11:50	期末テスト	×	×
28	金	11:50	期末テスト	×	×
29	土				
30	日				



スポーツ祭典



※予定の変更がある場合は、『tetoru』などでお知らせいたします。